

1 学 年 通 信 「cooperation」

＝ 学校祭まであと 1 週間 ＝

もはや言わずもがなですが、準備の残り時間が少なくなってきました。それぞれが自分の役割だけではなく、時間の許す限り他にも協力していかないと間に合わなくなります。また、個人のスキルアップが必要なもの（例：ダンスの練習、歌の練習など）は、自分の時間のあるときに密かに（？）やっておかないと、困ることでしょう（学校等では全体や集団の練習が主なので、個人の練習はそれ以外でやっておかないと、合わせられない）。製作物もお互いのアイディアを融合してより良い物を作ることが必要ですね。時間を有効活用して（スマートフォンで遊んでいる時間などない）取り組んでいきましょう。ただし、必要以上に無理したり、けがや体調不良を隠していると、当日に負担がかかり体調異変を起こしやすくなる場合があります。各自がそのことを意識することも忘れずに！

いじめは許さない！ （6月25日(火)の臨時全校集会より）

先日、臨時の全校集会がありました。「いじめ」の概念は難しい部分もありますが、少なくとも自分が他の人からされたら嫌だな、と思うことは人にやってはいけません。「これくらいは」とか「ちょっとからかっただけ」、「SNSならわからないだろう」などという部分は、すでに「いじめ」になっています。

前もお話ししましたが、いわゆる「やった方（加害者に相当）」はその意識がなく、何をしたのか忘れていることがほとんど。これに対して「やられた方（被害者に相当）」は、事細かに覚えています。忘れることがないのです。それだけ差があるということです。

この意識の違いが「そんなつもりじゃなかった」「悪いことなんかしていない」と全く自分に非がない発言をしてしまい、被害者側は、ますます心に傷を負うことになります。

相手が友人、クラスメイト、同級生、上級生や下級生だけでなく、家族や親族、先生や大人に対してもそれは同じです。生徒指導部長から学校はそのような行為を決して許さないだけでなく、対応できる組織も備えている、とお伝えしました。一人で抱え込まずに話して欲しいと思います。



■ アルバイトについて ■

前期の中間試験が終了し、成績会議が行われました。それとともに「アルバイト」を希望する人もいると思います。しかし、次のような状況はアルバイトに対して「どうかな？」「まだ無理では？」と私たちは考え、許可できないことになります。

- 1 成績不振・・・いわゆる赤点や補習対象になっている科目がある。
- 2 出席不足・・・遅刻や欠席、授業の欠席が多い。
- 3 学校生活・・・身だしなみがしっかりしていない、だらしないなど。
- 4 態度行動・・・ルールを守らない、指示に従わない、協力しないなど。

アルバイト自体はいわゆる社会学習（社会勉強）の一つに該当しますが、まずは学校生活や学習にしっかり取り組んでいることが絶対条件です。そこをおろそかにしてはアルバイト以前の問題になります。希望する人はそのことをよく認識してください。また、一度許可されても、上記の内容が満たされない場合、不許可になることもあります。